



2018年6月25日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 石原紀彦
(コード番号：2467 名証セントレックス)
問合せ先：取締役管理本部長 五十嵐 雅人
電話番号：03-5649-2500(代表)

(開示事項の経過)

CyberGym Control Ltd.との共同事業及び追加ファイナンスの状況に関するお知らせ

当社は、2017年12月22日付「(開示事項の経過)CyberGym Control Ltd.との共同事業に関する独占的ライセンス契約締結等のお知らせ」において、サイバージム(CyberGym Control Ltd./ 本社 イスラエル ハデラ市 / CEO Ofir Hason)とのサイバーセキュリティ分野における共同事業(以下、「本件共同事業」)を行うため、共同事業会社として米国に新設する当社子会社Strategic Cyber Holdings LLC(以下、「SCH」)において、外部投資家からの追加ファイナンスを、2018年3月末を目途に実施する予定である旨を公表いたしました。その後、2018年4月9日付「(開示事項の変更・経過)CyberGym Control Ltd.との共同事業及び追加ファイナンスの状況に関するお知らせ」(以下、「前回開示」)において、SCHの資本政策を含む事業戦略に関する最適なストラクチャーの協議・検討を継続中である旨を公表いたしました。今般、当該追加ファイナンスの内容を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社とサイバージムとは、本件共同事業に関する基本合意書及びライセンス契約を締結の後、共同事業会社であるSCHを設立し、各種サイバートレーニングアーリーナの運営準備やマーケティング活動を共同で推進しております。当社は、サイバーセキュリティ分野を当社グループの成長戦略における重点戦略分野として位置付け、サイバージムとの本件共同事業を中核とした最適なサイバーセキュリティソリューションを提供するための体制構築を目指しており、また、サイバージムにおいても、2018年1月末に発表したとおり、本件共同事業により同7月18日に開設するニューヨークのコマーシャルアーリーナ^{*1}「CyberGym NYC」をグローバル戦略の中核となるWCWA(World Cyber Warfare Arena)の重要拠点として位置付けております。また、日本市場における本件共同事業の本格展開を図るため、SCHが国内初となるハイブリッドアーリーナ^{*2}「CyberGym Tokyo」を東京に開設し、2018年8月1日にオープンする予定です。

前回開示にも記載のとおり、本件共同事業を推進するなかで、当社とサイバージム間の連携を更に強めており、両者において本件共同事業に対する戦略上の位置付けがより高まったことから、SCHの資本政策を含む事業戦略に関する最適なストラクチャーについて、より十分な検討を行う必要性が生じ、資本政策の再検討を含め協議・検討を継続して参りました。

その結果、当初は、2017年12月22日付「(開示事項の経過)CyberGym Control Ltd.との共同事業に関する独占的ライセンス契約締結等のお知らせ」に記載のとおり、SCHの事業運営資金の一部を外部投資家向けの新株発行で賄う予定でしたが、本件共同事業の将来性や当事者における戦略上の重要性に鑑み、現時点では当社の出資比率を維持し、SCHへの資金支援は当社が直接行うことが最適と判断いたしました。これに伴い、SCHによる「CyberGym NYC」のサイバージムからの取得資金500万米ドルの未払い残代金128万米ドル(支払済みの222万米ドルと納入元であるサイバージム社による現物出資分の150万米ドルを除いた金額)とSCHの事業基盤が確立され、安定的に収益を獲得できるようになるまでの運転資金について、当社の自己資金に加え、当社が資金調達を行うことで、これをSCHに追加出資及び融資することといたしました。また、SCHの持分比率は当社が現在100%となっておりますが、当社の追加出資が終了しサイバージムより「CyberGym NYC」の納入・設置を受けた段階で当社が70%、サイバージムが30%となる予定です。

当社における上記資金調達の内容については、本日付で公表いたしました「第三者割当による第3回新株予約権(行使価額修正条項付)及び第4回新株予約権(行使価額修正選択権付)並びに無担保社債(私募債)の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

<今後の見通し>

本件による 2019 年 3 月期の当社業績に与える影響につきましては、本件以外の要素も含めて精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※1 コマーシャルアリーナ

重要インフラストラクチャーの複数セクターを対象とするサイバーセキュリティトレーニングのフルパッケージサービスを提供する大型のトレーニング施設となります。コマーシャルアリーナ内には、対象セクターに対応する複数の模擬施設、ハードウェア及び専用ソフトウェアなどが構築され、サイバーセキュリティのスペシャリストで構成される攻撃側の RED TEAM や防衛側をサポートする WHITE TEAM などが配備されます。

※2 ハイブリッドアリーナ

主に顧客の社内又は設備内に設置される小型のサイバーセキュリティトレーニング施設です。WHITE TEAM が配備され、主な設備はハードウェア及び専用ソフトウェア等となります。なお、RED TEAM によるサービスは、コマーシャルアリーナからリモート提供されます。

以上